

【第三種郵便物認可】

個性派企業 ファイル

ロボットを使った製造ラインの設計や工場へのIoT導入支援、設備動作を検証するシミュレーションソフト販売……。金属加工を中心に製造代行サービスを手掛ける三松(福岡県筑紫野市、田名部徹朗社長)が、中小製造業の支援サービスで活躍の場を広げている。

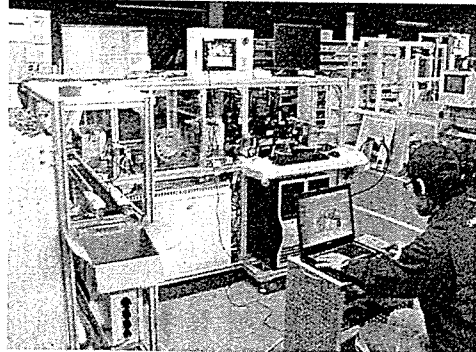
☆☆☆

同社は薄板の板金加工が主力で、特に半導体関連などの精密加工を得意とする。これを基盤に機械設計や組み立ての技術を組み合わせ、コインパーキング精算機の筐体や携帯電話の基盤といった分野へと領域を蓄積し、成熟した段階で

を広がってきた。理化学機器メーカーと共同で開発したIPS細胞の培養装置なども手掛ける。

三松 薄板の板金加工

中小のものづくり支援



工場の省力化やIoT導入など幅広い中小企業支援サービスを展開する

IOTを使った生産管理システムを構築したことで、当初は大手のシステムを導入したが、現場の実態と合わず機能しなかったため「SEを採用して

会社概要	
本社	福岡県筑紫野市 岡田3の10の9
代表者	田名部徹朗社長
電話番号	092・926・4711
設立	1972年
事業内容	金属加工、機械装置の組み立てを中心とする製造代行サービス

社内製造ラインを徹底的に合理化したことにより「工場を分単位で貸している」(同)イメージで少量多品種の生産代行が可能になった。

☆☆☆

このほど完成した新工場には産業用ロボットの動作やプログラミングを習得できる教育施設を設けた。自社の社員だけでなく、地域の中小企業にも活用してもらいたい考えだ。

外部企業に提供する。この繰り返しでサービス領域が拡大し続けている。三松が板金加工会社から脱皮するきっかけの一つとなったのが、1997年に

現場に即したシステムを自ら前で作上げた。この管理システムには90年代からいち早く、あらゆるモノがネットにつながる。IoTの要素も付加。受注材料調達、自社工場の使用時間の確保や外注、物流、納入などの工程や原価管理をリアルタイムで可視化し、生産効率を向上させた。様々な事業を手掛ける同社だが、足元では売上高約

九州

支局 西部編集部 092-4713-3334
 佐北九州 093-5711-6104
 賀 095-2123-4597
 熊大長 095-822-1707
 本分崎 097-532-4932
 本 096-364-6608
 宮崎 0985-22-2754
 鹿児島 099-222-0132
 那覇 098-862-0148

随時掲載